

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2011-’12年度
国際ロータリー第2770地区



2012.1
第7号



◆春日部八幡神社

春日部の総鎮守として多くの市民に親しまれている春日部八幡神社は、鎌倉時代元弘年間(1330年代)に、現在の浜川戸地区から北越谷までを領地としていた春日部重行公により鎌倉鶴岡八幡宮を勧請して築かれました。春日部の地名も一説には大和時代の安閑天皇皇后春日山田皇女らの私有民が居た御名代部に由来するといわれています。

国際ロータリー第2770地区
ガバナー 三國 明

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックスター東館1階
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp



ロータリー理解推進月間

2011-2012年度ガバナー 三國 明

新年明けましておめでとうございます。昨年は全国民が等しく艱難辛苦を共にした年となりました。わが地区においても一早く立ち上がり、ロータリアンの奉仕の理想を実践しました。今年度に入ってからも、地区の復興支援特別チームを中心とした支援プログラムやクラブ主体の奉仕活動が続いています。これ程ロータリーの力が試された時はなかったと言えます。寛容と忍耐と横のリーダーシップを旨とするロータリーのアクションにまどろっこしさを感じたロータリアンも少なからずおりました。

三國年度も後半に入りました。皆様方のご理解とご協力により、公式訪問も地区大会も無事通過しました。「ロータリーに新風を」のもとに三國年度が始まりましたが、果たしてどれだけの成果が上げられたでしょうか。何事によらず、従来通りやればいいというのは、一番楽なことです。古いものを捨てて、新しいことに踏み出すのは不安を伴うものです。リスクも伴います。前半を振り返り、その上に立ち、なお「ロータリーに新風を」のテーマにチャレンジしてください。

さて、今年度の会員増強の出足は率直に言ってあまりよくありません。地区協議会で各クラブが掲げた目標の半分も達成できていません。来年度は田中作次氏がRI会長の年です。そのお膝元で会員減少では申し訳ありません。ここは各クラブの会長さんを始めとしてロータリアンの皆さんに、頑張っていただきたく思います。ぜひ目標達成にチャレンジしてください。目標は地区内の全クラブがRI会長賞をとることです。

ロータリーの魅力とはなんでしょう。一人一人ご自分なりの回答を見つけてください。

今月はロータリー理解推進月間あります。会員にロータリーについて知識と理解を一層深めて貰い、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知って貰うためのプログラムを実施する月間です。最近の傾向として入会五年未満の会員にロータリーの基本的情報が正しく伝わっていないと言われています。ロータリーの知識に乏しい人を会員に迎えたクラブはやがて衰退を招くと、今から90年前に警告を発した、RI会長がおります。1921年スコットランド国際大会における、ペレット・ヒルです。結局ロータリークラブの真の目的を知らずに、マンネリ化した例会に出席し、奉仕活動の感動

体験ないままに過ごし、意欲を失って退会してしまうパターンが多いのです。

このような認識のもとに、草の根運動としてのRLIが生まれました。わが地区でも数年前からこのRLIに取り組んでおおきな成果を上げつつあります。クラブ内における情報委員会が元来そのような役目を果たしていました。ロータリーはここ50年来大きく変化してきました。基本理念は不变ですが、奉仕の形や、仕方、そして組織の変革がなされています。奉仕プロジェクトの規模も大型化され、社会に大きな影響を及ぼすプロジェクトは、ロータリー財団主導型になり、広報にも大きな力を注ぐようになりました。このような事情からクラブ単体としての取り組みだけでは不十分と見られ、新しいロータリーの情報を共有する方法の模索の結果、RLI、つまりロータリーリーダーシップ研究会が誕生しました。次年度から国際ロータリーの正式なプログラムとなりました。このプログラムは従来型の一方向型の勉強会ではありません。司会者が一人いて特定のロータリーのテーマに沿って出席者同士の討論の形式で進んでいきます。司会者はいわゆるファシリテーターと言われ、決して押しつけがましい講義はいたしません。テーマについての結論も出しません。出席者に討論に参加して特定テーマについて興味を持って貰い、後日自ら興味を持ったテーマについて資料を読んでロータリーの基本的情報を身につけて貰うのが目的です。是非気軽に参加して欲しくお勧めします。このシステムは新会員のためのものではありません。入会間もないメンバーだけのためでもありません。むしろシニア会員にとっても、最近のロータリー情報を知る上での大切な機会であります。職業奉仕一つとっても、1989年の職業宣言により、ロータリアン各自のほか、クラブや地区の責務になりました。また、財団主導型の巨大プロジェクトはいくつもの異なる国のクラブ参加のジョイントプログラムもあります。つまり、I SERVEからWE SERVEへと転換したといえるでしょう。また、単年度主義もかなり変化してきました。地区の部門委員会は基本的には三年制を採るようになりました。今やロータリーは大きく変化を遂げつつあります。この機会を捉えて老壯青を問わずロータリーの今の情報を共有しなければなりません。ロータリーの伝統は常に新しい伝統によって塗り替えられることによってのみ継承される、と言うことを銘記いたしましょう。



韓国地区大会 訪問記

国際奉仕部門委員長 隅内 道三

11月25～26日。友好地区であるRI.D3750地区の地区大会が韓国・水原市で開催されました。当2770地区では三國ガバナーご夫妻をはじめ、吉田豊治PG、田中徳尚ガバナーエレクト、渡辺和良ガバナーノミニーその他国際交流委員会・インターラクト委員会等の関係者総勢16名による公式訪問となりました。訪問団一行は、安哲浩総裁をはじめ3750地区の皆様から心温まる手厚い歓迎を受け、初日から帰国の日まで、感激と感謝の訪韓となりました。

訪問初日のRI会長代理ご夫妻を囲む晩餐会では、三國明ガバナーが片言の韓国語で挨拶をされ、会場から拍手喝采を浴びましたが、これに味をしめたのかどうか分かりませんが、翌26日の地区大会本会議場における三國ガバナーの祝辞は、最初から最後まで韓国語でスピーチされました。これには私ども同行者一同、度肝を抜かれましたが、会場内の3750地区の皆様には大うけで、スピーチ終了の際には、会場内は大きな拍手に包まれました。

この光景を間近に見つめていた田中エレクトが闘志を漲らせておられた姿がことさら印象に残りました。

地区大会のやり方は国や地域によって様々ですが、3750地区においては、会場にアクセスする相当長い距離の道路沿いに、地区大会の開催旗が数え切れないほど掲げられ、地域を挙げての行事となっているようでした。また、会場内は熱気に包まれ、独特的の雰囲気の中にも、「皆で一丸となって作り上げた地区大会」という色が強く感じられ、訪問団一行にとっては、印象に残る地区大会訪問となりました。

当地区と3750地区との友好・交流は、インターラクトや地区大会の相互訪問を中心に、二十有余年の歴史を重ねていますが、今回の公式訪問でも、両地区相互間での、熱い歓迎と感謝の心の交換を通じて、共に絆を強くすることが出来たように思います。



祝辞を終え満面の笑みの三國ガバナーと大絶賛の安総裁

『国際ロータリー第2770地区 バンコク大会 参加旅行』のご案内 ～田中作次 RI会長エレクトを応援しましょう～

今期の国際大会はバンコクでの開催となります。距離的にも参加しやすく、登録料・旅行代金が割安な設定になっておりますので国際大会未経験の方にも参加しやすい大会となっております。また、日本人として三人目のRI会長エレクト田中作次氏の施策方針演説も予定されている等、より感動を得られる大会となっております。この機会にRI第2770地区を挙げてバンコク大会に参加し、ロータリーの眞の国際性をご満喫下さい。

この度大会参加旅行4コースを企画致しましたので、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。参加旅行のお申込・ご質問につきましては、下記連絡先（株）JTB関東法人営業川口支店までご用命下さい。

連絡先：TEL 048-227-2503：（株）JTB関東法人営業川口支店 営業担当 高畠宛（土・日・祝日定休）

新会員の集い 会員増強維持部門

会員増強維持委員 木村 芳子（春日部西RC）

11月28日（月）、14時30分よりラフォーレ清水園において会員増強維持部門の新会員の集いが開催されました。

三國ガバナー、地区研修リーダー、グループガバナー補佐を始め、地区役員、各クラブ会長、幹事の140名が参加しました。

第1部では、基調講演に講師として会員増強部門担当諮問委員の中村靖治パスト・ガバナーをお招きし、テーマとして『善き仲間として』と題し、とても解りやすくお話をされ新会員は聞き入っていました。終了後、懇親会が始まり新会員自己紹介があり三國ガバナーより地区バッジを付けて頂き、楽しいひと時を過ごしました。今後、新会員の皆様には、ロータリー活動を大いに楽しんで頂きたいと思います。



「良き仲間として」をテーマに基調講演

世界的な人口の爆発的増加が起きた場合の世界的飢餓や衛生問題など、わかりやすくそして熱くお話をいただきました。

今、皆さんにお互いに名刺を交換しました。
殆どの人がそれで終わってしまうが、本当の勝負はここから！
手元にある名刺をいかに有効活用するかが、
今日出席した本当の意義ではないだろうか!!

IM日程表

日程・時間	グループ	場 所	日程・時間	グループ	場 所
1／21（土） 13：30～	第10G	松伏町 田園ホール エローラ	2／15（水） 14：30～	第4 G	ラフォーレ清水園
1／26（木） 13：00～	第 5 G	ベルアンジュ上尾	2／25（土） 14：30～	第 6 G	凸版印刷総合研究所
1／28（土） 15：00～	第 8 G	越谷コミセン ポルティコホール	3／3（土） 15：00～	第 3 G	ラフォーレ清水園
2／3（金）	第 9 G	浅草ビューホテル	3／17（土） 14：30～	第11G	ホテルグランドパレス塩釜
2／4（土） 14：00～	第1・2G 合同	浦和ロイヤルパインズホテル	3／24（土） 9：00～	第 7 G	蓮田 黒浜運動公園
2／10（金）	第12G	川口リリア1階展示ホール			



文庫通信 (291号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

◆ 最近のロータリー情報から ◆

- 「米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係」 宮本四郎 2011 2 p (米山梅吉記念館館報)
- 「親睦Fellowshipについて」 本田博己 2011 2 p (ロータリーの力)
- 「歴史に残る1ページ：『ロータリー年度』の由来」 RI 2011 1 p (国際ロータリー・ニュース)
- 「歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり」 RI 2011 2 p (国際ロータリー・ニュース)

◎ 「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」 RI 2011 2 p (国際ロータリー・ニュース)

◎ 「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」 関場慶博 2011 10 p (D. 2530地区大会記録)

◎ 「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」 安平和彦 2011 12 p (D. 2500地区大会報告書)

◎ 「ロータリーの奉仕活動について」 前川昭一 2011 5 p (D. 2720地区大会記録)

◎ 「歴史に残る1ページ：会場監督」 RI 2011 1 p (国際ロータリー・ニュース)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロ
タ
リ
ー
文
庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時
休館=土・日・祝祭日



先輩より



クラブを活性化させるためには・・・？

パストガバナー 津田 健三

与えられたテーマを考えるとき、一番最初に浮かぶのは、時代の急変に伴う情報の多さと価値観の違いである。生活を守り、企業の永続的繁栄を計るには、通常の努力では追いつかない。加えてロータリー活動です。覚悟を決め、志を新たにし、生きる課題の一つとして、しっかり取り組む必要がある。

「人のため良いことをしよう」というロータリーの理念は「人を幸せにする経営」を実践する企業理念とも大きく合致する。ステークホルダー（従業員とその家族、外注先、仕入先、顧客、地域社会、株主、その企業の利害関係者）を守り、経営をすることは、奉仕の一つである。ロータリー活動を通じ、私は今迄、いろんなことを学び、経験してきた。4つのテストの実践をはじめ、沢山のことが企業運営に役立って、今日を迎えている。そのロータリーが衰退することは絶対避けたい。

ロータリーの繁栄は、正にクラブ活性化があって成し得ること。そして、そのクラブの構成員の志、即ち熱意が全てであると思う。それでは、クラブ活性化に向け、どうすれば良いか具体的に上げてみよう。

1. ロータリアンである限り、生活のリズムの一つに加え、例会には必ず出席し、同じ目標に向かって進まなければならない。奉仕活動には全員が参加することを自分に課す必要がある。
2. クラブ運営の最も大事な人選はプログラム委員長です。充実した中味のある例会はプログラム委員長が決める。最も信頼のおける顔の広い実力者を選任すべきである。
3. 奉仕活動は、地域のニーズを探り、又掘り起し地域の人々を巻き込んだ意義のある奉仕活動を企画実行する。そして、出来たら継続事業として毎年行って、地域のある季節の「風物詩」となるよう努める。
4. 活動する際は、広告・プログラムを作成し、誰が、何のための活動かをしっかりと宣伝し、参加、応援いただくことが大事。参加した人が入会し、一緒に活動したくなるように計る。
5. 例会は勿論、奉仕活動に於いても、会員の出番を多くし、会社の内容、会社の理念、生き方等、お話しをしていただく。言葉にして発表することによりロータリーへの思いが強くなる。

結び

また、クラブ活性化で一番大事になるのは会員数と会員構成です。最少でも30名以上です。そして、バランスのとれた年齢層であること。

地域の皆さんから心から喜んでもらえる奉仕活動をし、誰もが尊敬してやまないロータリアンの人柄。そして、その人に依って経営される立派な企業又は専門職であること。若い人の入会をどう進めるかも大切です。

RI会長も言っています。今の若い人は余程の感激、共鳴がない限り、こっちを向いてくれないし、動かない。それを何としても勧誘し、将来を見越してバランスのとれた会員構成のクラブにしなければならないと考えます。



understand

パストガバナー 関口 博正

私はガバナー在任中の月信に次のような文を書いた事があります。

「理解と言うことはあら搜し的な態度からは決して生まれず、常に相手を尊重し、敬意を抱き、こちら側として謙虚さを失わない時、初めて成立するものである。この間の消息はいみじくも英語ないし、ドイツ語の語源そのものを明示している。すなわち、アンダースタンド (understand)、文字通り下に立ってであって、決して上に立つ、オーバースタンドではない」(平塚益徳)

大部分のロータリークラブは、ある程度以上地域社会の人々によって構成されております。そこで大切なことは、お互いによく知り合うこと、そして単に知り合うだけでなく、理解を深めることであります。よく入会2~3年の会員の退会が多いと言われておりますが、これは相互理解が不十分であることも大きな要因と思われます。オーバースタンドが大き過ぎ、アンダースタンドが足りなかったのです。

ロータリーは親睦と奉仕だと云われてますが、親睦は奉仕を行う為の手段であります。親睦とは何らかの関係にある人達が仲良くするために、仕事や宣伝を抜きにして飲食を共にするとされていますが、それをもう一步進めて、相互理解、相互信頼が生まれれば、クラブは自ら全ての面で活性化され、自主性、主体性、多様性が生まれると思います。そして、太い縛が結ばれる筈です。

「クラブの活性化は地区の活性化に繋がります。何故ならロータリアンとしてロータリーの仕事をするのは、クラブとその会員であって、地区ガバナーでも国際ロータリーの理事でも会長でもありません。クラブを充実させるために「私たちは上意下達（トップダウン）ではなく、草の根レベルから立ち上がって（ボトムアップ）で働きます。」(ビチャイ・ラタクル元RI会長の言葉)

後輩より



平成22年8月1日入会／第12グループ

クラブの活性化について思うこと

西田 宗平 (川口北RC)

今、どこのクラブでも最大の問題点は会員の増強不足だと聞いておりますが、それには何と言いましても、クラブに魅力が有るか無いかに掛かっていると思われます。

そう考えますと一般の方から、ロータリーが憧れや尊敬の気持ちで見られる存在でなければ増強は難しいと思うのですが、実際は、何をやっている団体なのかが分かりにくいというのが現状のようです。

今までのロータリーは、「縁の下の力持ち」まさに足長おじさんの存在で、それは云わば「種を蒔く」作業に終始していると思うのですが、これからは、「種を蒔く」プラス「果実の収穫」を見せ示す時期に来ていると思うのです。日本にロータリークラブができて100年近い歴史がある中で、これまでたくさんの種を蒔いてきた奉仕活動の具体的成果を、クラブ内外に発信することが、果実の収穫なのではないでしょうか？

世界中で年間5000人と言われる交換留学生や米山奨学生、財団などの、具体的成果や社会的貢献度の「果実の収穫」を見せ示すべきなのです。これが一般の方の尊敬を呼ぶ事になると思います。

また、一つのクラブでは小さな事しかできなくても、グループや地区が一つになり、組織力を発揮したらかなりの大きな事業ができるでしょう。組織力としての横の繋がりや親睦の輪の大きさは、一般の方から見て何よりの憧れとなることでしょう。



平成21年7月30日入会／第1グループ

クラブ活性化について思うこと

漆原 誠（浦和東RC）

浦和東ロータリークラブは創立より42年目で、現在会員数80名のクラブです。

私は入会から3年目になりますが、入会当時3人の新会員の歓迎会をクラブで開催していただきました。パスト会長も含め50名ほどの参加者だったと思います。

その晩は会員の皆様の顔も分からずじまいの歓迎会でしたが、新人の我々を大変盛り上げていただいた記憶だけが今でも鮮明に残っています。その日から、私は浦和東ロータリークラブに強い帰属意識を持つようになりました。

昨今、会員の増強や減少が取り上げられておりますが、入会3年目の身分から申し上げれば新会員を大切にして、適度な役割を与えてくれるクラブは辞める気にはなりません。寧ろ会員の環を広げたくなり新会員の紹介へと繋げたくなります。そして会員が増えれば自ずとクラブに活気が出で来ます。

入会3年目の私が思うクラブの活性化とは、「新会員を大切にし適度な役割がクラブ活性化への近道」だと考えます。



平成23年6月入会／第1グループ

クラブの活性化について

市川 徹（浦和RC）

歴史と伝統ある浦和クラブに入会させていただいたから、約半年が経過いたしました。クラブの活性化について話をさせていただくには、まず、ロータリークラブがどういうものかを理解している必要があると思いますが、恥ずかしながら、まだ理解できておりません。先日参加させていただいた「地区新会員の集い」での自己紹介で、他クラブの多くの方が、「何もわからないまま入会したのだけど、今〇〇委員をやっている」と挨拶され、諸先輩方も、「やっているうちにわかってくる」とお話ししていました。まずは例会に出席し、様々な活動に参加して、RCを体感するのが早道なのかもしれません。活動に参加すれば、諸先輩方の経験談を伺わせていただくこともできます。

三國ガバナーが公式訪問された際、Facebook等のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用についてお話ししていました。自分が体感・体験できたことを、会員以外の方に伝えるということにより、自分自身のRCに対する理解を深めることもできるので、今の私にできる活性化策の一つではないかと思いました。

この原稿を書いていて、浦和クラブのチャーターメンバーだった祖父（故人）に話を聞くことができたら、RCというものをもう少し理解できるのだろうなあ、と思いました。

「ロータリー財団地域セミナー」報告

2011-12年度ロータリー財団部門補助金委員長 下 和 雄（大宮シティRC）

11月23日（水）勤労感謝の日に「大阪国際会議場」において「ロータリー財団地域セミナー（ゾーン1, 2, 3）」が全国34地区から財団関係者約270名が参加して開催されました。

当地区からは、元RRFCの北清治PDGやRPC（ローター平和フェロー大口寄付推進コーディネーター）の津田健三PDG、「未来の夢計画」のパイロット地区からの報告でパネリストとして登場された岩渕均PDGや田中徳尚Gエレクト他4名が朝10時から夕方5時迄熱心

に受講されました。開会後の挨拶で、小沢一彦TRF管理委員は「外国では寄付をされた方を大切に扱う。日本は控えめな人が多い。もっと堂々として欲しい。」と述べられ、近藤雅臣RI理事もポリオについて声高らかに「我々が一生懸命やって来たのだよとアピールして下さい。」と強調されました。重田政信恒久基金日本委員会委員長は「日本の2010年度年次寄付は過去最高の一人当たり128ドルでした。1982年に創立された恒久基金は目標の2億ドルは2005

年に達成され、次の目標は2025年に10億ドル達成する事です。2011.8.31現在6億8,800万ドルです。恒久基金の投資収益は07-08,08-09はマイナスでしたが、他年度は全てプラスでした。」と述べられ、岩井敏ロータリー日本財団理事長からは「寄付の税制上の優遇制度は領収書が必要です。7／1以降の寄付者には、1／1に発行させて頂きます。所得税においては税額控除と所得控除のどちらかを選ぶ事ができます。」との事でした。

ロータリー平和フェローの現況について、当地区の津田健三RPCは「2015.6迄に9,500万ドルを目標にしています。現時点であと3700万ドルです。冠名基金は5万ドル以上の寄付が必要です。財団室と連携して135万ドルを集めせていただきました。」と報告されていました。

昼をはさんでのパネルディスカッションでは、当地区的東日本震災復興基金日本委員会委員の北清治PDGが「基金への申請は、164件あり128件審査を終了し58件を承認しました。世界各国からの支援金518万ドルのうちすでに300万ドル以上の支給をしました。」と報告されました。被災地の2520地区(宮城・岩手)の菅原一博ガバナーが「何が欲しいかが一番困る。何も無くなつたので判らない。これが欲しいといった回答が見つからない。山を越えて町が無くなり、道路も無くなり現在は【あばら骨作戦】を展開中です。」と支援への御礼を含めて話され、2530地区(福島)の平井義郎ガバナーは「災害支援関連のマッチングだけで、14件(63,736,400円)申請しました。義援金は未使用を含めて約1億円位残があります。行政が行き届きにくい所に支援していきたい。ロータリーの友に投稿を呼びかけています。」と述べておられました。そして2830地区(青森)の小山内康晴ガバナーは「今回6つの重点分野に当てはまらないという事で震災支援にグローバル補助金が使えない事になりました。震災支援も6つの重点分野に加えて欲しい。未来の夢計画がはかない夢計画にならないように希望しています。」と訴えておられました。

江崎柳節ZCCからは2億ドルチャレンジについて「2011.2.25にインドの1億7,000万人の子供に全国一斉にポリオワクチンを接種した。(NID) その結果インドでは2011年において



今まで1例しか発症していません。ポリオ撲滅2億ドルチャレンジは2011年11月現在1億9,520万ドル(97.6%)集まりました。」との報告があり、小林完治ロータリーカードZCは、「ロータリーカードはロータリアンの身分証明書です。日常生活で誠意(思いやり)を実行する手段です。来年の12／31迄は、0.3%のロイヤリティは震災基金として還元されます。カードは3年間利用されないと自動的に執行しますので、1,000円でも使って下さい。今はWebからでも手続き出来ますのでぜひ宜しく。」と呼びかけておられました。

最後の「未来の夢計画」のパイロット地区からの報告で、パネリストとして登場された当地区的岩渕均地区R財団委員長は当地区的グローバル補助金の実施状況を奨学生とVTTその他に分けて細部にわたって報告され、グローバル補助金のハードルの高さを強調されました。

同じパイロット地区の第2690地区(鳥取・島根・岡山)の鳥居滋地区R財団委員長が「当地区では、環境保全、体験学習が多く、稚魚放流等で地元の河川や森の再生に努めています。」と話されていたのが印象的でした。

セミナー最後の質疑回答で

- ①一般企業が震災義援金の寄付をした場合寄付控除が受けられるか?
→(回答)日本財団経由なら受けられます。
 - ②複数クラブでも新地区補助金は受けられるか?
→(回答)受けられます。
 - ③米山奨学生の受入れに例を見るように財団部門でも中国とのプログラムを前向きに検討頂きたい。
→(回答)検討します。
- といった質問がなされ、参加者のレベルの高さを再認識させられる素晴らしいセミナーでした。



蓮田ロータリー杯小学生サッカー大会開催

社会奉仕委員長 黒須 雅行 (蓮田RC)



今年度、三國ガバナーの地区目標の一つ「明日を担う若者に対する奉仕活動」の一環として、第7グループ深田ガバナ

ー補佐が「第7グループ小学生サッカー大会」を提唱しました。それを受け、蓮田ロータリークラブは11月20日（日）に第1回蓮田ロータリー杯小学生サッカー大会（兼予選会）を行いました。「明日を担う若者に夢と希望を!!」をテーマにサッカーを通じて、小学生たちが一つのサッカーボールを追う「純粋さ・仲間との絆」に大変心がうたれました。なんと素晴らしい秋晴れの一日でした。

蓮田ロータリーとして、地域の人達・若者に

対する「奉仕活動」の必要性を痛感した次第です。ちなみに、優勝 FCリアン、準優勝 セイガキッカーズ、3位 ジョイフルFC。

この結果、「第7グループ小学生サッカー大会」決勝大会を平成24年2月25日（土）にさいたま市見沼区堀崎運動公園グランド（人工芝）にて行います。第7グループ各ロータリークラブの予選会から勝ち抜いた8チームにより熱戦が予想されます。

今から、子供たちの嬉しそうな顔が思い浮かぶようです。

「乞う、ご期待!!」というところです。



2770みちのく応援活動

会長 宮本 和寿 (岩槻東RC)

を広げて継続して行わなければならぬと改めて感じて参りました。



東北旅行感想文

さいたま中央RC 会長：河邊 壽郎／幹事：井原 正
親睦委員長：三浦 豊代

10月29、30日の二日間、東日本復興支援・会員・家族親睦旅行で山形県に旅行してきました。



総勢23名で、山形新幹線新庄駅を起点に最上川の川下り、宿泊は湯の浜温泉、翌日は羽黒山を参拝し、約2400段を徒步で下山しました。天候に恵まれ、のどかな船下りや、日本海に沈む夕日を眺め、地元のおいしいお酒、お米や料理を堪能できました。川下りの船頭さんの話では、この時期、例年だと約二千人が訪れるのに、今年は半分程度だと嘆いていました。今後も、様々な形で復興支援に努めて参りたいと思います。

公式訪問レポート（ガバナー公式訪問を終えて）

▶ さいたま櫻RC・大宮南東RC ◀



例会日：平成23年10月18日（火）

さいたま櫻RC 会長：寺沢 良治／幹事：井上 博明

大宮南東RC 会長：村松 秀樹／幹事：大橋 令子

10月18日（火）三國明ガバナー、第3グループ岩崎彰ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問を開催させていただきました。午前10時50分から三國ガバナー、岩崎ガバナー補佐、そしてクラブから会長、幹事、同席のもと面談が行われ、クラブの特徴、現状と活動状況等を説明しました。その際、ガバナーより会員増強、また核となる奉仕活動をこれからも継続して欲しいと心強いご指導および助言を頂きました。続いて午後12時15分から例会セレモニーに入り、三國ガバナーより卓話を頂戴し、RIの方針、地区の方針、重点事項等プロジェクトの映像を見ながら直接に拝聴することが出来非常に参考になりました。その後、協議会においては各委員会の年度計画、活動報告に対しその都度三國ガバナーより適切な講評を頂きました。会員増強に対する方法については、クラブのホームページの中でプログラムを積極的に利用して、「ロータリーとは」「ロータリーの活動内容」を地域の皆さんに知ってもらうことが一番のポイントではないかとアドバイスを頂きました。

最後に岩崎ガバナー補佐より社会奉仕・国際交流・青少年交換・前年度の財団への寄付等、各事業にバランスのとれたクラブになっていると講評を頂いて協議会を終了いたしました。

▶ 大宮東RC ◀

例会日：平成23年10月19日（水）

会長：山田 宗一／幹事：東条 和彦

10月19日（水）三國ガバナー・第4グループ久下ガバナー補佐をお迎えして公式訪問を開催させて頂きました。

三國ガバナーは早めに到着され、当クラブ例会場の周辺を散策されておられましたところに幹事の私と偶然に会い2人で珈琲を飲みながら当クラブについて話しました。例会場に到着しだい、懇談会ではクラブ現況と特徴及び活動内容について会長より説明させて頂きました。特に会員増強については強調されましたので会長を先頭に会員増強に努力すると誓いました。その後会員全員と食事をして、和やかな雰囲気の中、例会を開始しました。会長は少し緊張ぎみでした。ガバナーの卓話ではRIのテーマについてと地区運営についてわかりやすく説明され、会員がよく理解できたと思います。

クラブ協議会では当クラブの活動についてご指導を頂き、会員よりガバナーに対してロータリーの疑問点について質問がありましたがガバナーから適格なお答えが得られ素晴らしいクラブ協議会でした。

三國ガバナー・久下ガバナー補佐におかれましては今後の活躍をご祈念申し上げます。大変お疲れ様でした。クラブ会員一同感謝申し上げます。



▶ 蕨RC ◀



例会日：平成23年10月25日（火）

会長：松尾 康司／幹事：服部 英昭

三國 明ガバナー、第12グループ川島 健ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催致しました。例会に先立ちガバナー・ガバナー補佐・クラブより会長・次年度会長・幹事同席にて懇談会を行われ、クラブの現況と活動計画を説明し、会員減少にてクラブの活性化が失われつあることを相談したところ、増強について様々なご指導・助言を頂きました。例会においては、ガバナー持参のパソコンとプロジェクトを駆使しRI会長方針、地区の運営方針・活動方針を熱心に解りやすく説明して頂きました。クラブ協議会では、各委員長の事業方針、活動状況等の発表において講評を頂きました。また、3年後の50周年に向けて会員増強に様々なアドバイスも頂き、今後に生かしていきたいと思います。三國 明ガバナー、前週より御指導頂きました川島 健ガバナー補佐には心より感謝を申し上げます。日一日と寒さが増す季節になりました、ご自愛頂き、ご活躍されますよう御祈念申し上げます。



▶ 草加RC・草加イブニングRC・草加中央RC ◀



例会日：平成23年10月25日（火）
草加RC 会長：川井 大輔／幹事：牛山 信康
草加イブニングRC 会長：河井 孝夫／幹事：田中 和郎
草加中央RC 会長：加州 正博／幹事：百瀬 皓

10月25日（火）、三國明ガバナー、金杉光左生第9グループガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を実施いたしました。この度は、草加ロータリークラブ、草加イブニングロータリークラブ、草加中央ロータリークラブの3クラブ合同です。例会卓話“ロータリーに新風を”をとても判り易く説明していただき、一同ロータリー理解を深めることができました。また例会後のクラブ協議会は、各クラブの担当者が事業説明を行いました。これは会員にとって他クラブの活動状況を知るよい機会となり、刺激的なかつ有意義な情報交換の場となりました。三國ガバナーのご丁寧な講評をいただき大変勉強になりました。ガバナーのご来訪に心から感謝申し上げます。

▶ 鴻巣水曜RC ◀

例会日：平成23年10月26日（水）
会長：加藤 文男／幹事：石井 英男

三國明ガバナー様、鴻巣水曜RCへお越し頂きまして誠のありがとうございました。

公式訪問例会、クラブ協議会前の尾花ガバナー補佐にも同席を頂いた懇談の時間は大変有意義な一時間でありました。三國ガバナーの穏やかな話の中に、普段では伺うことのできない事柄やロータリー活動の本質を感じ取ることができました。その結果次の例会・協議会もゆとりのある中、密度のある運営ができたと思います。



▶ 久喜菖蒲RC ◀



例会日：平成23年10月27日（木）
会長：林 明／幹事：夢川 善裕

10月27日（木）の例会日、2011～12年度久喜菖蒲ロータリークラブの公式訪問が行われました。過密なスケジュールの中、お越し頂きました三國ガバナーおよび深田ガバナー補佐には心より感謝申し上げます。

午前11時からの会長、幹事、会長エレクトを交えての面談では、クラブ運営・奉仕活動、そしてメンバーの増強や退会防止等について貴重なお話を頂きました。

例会ではガバナー自らパワーポイントを用い、RIや地区の方針を説明され、ロータリーの内容について理解を深めることができます。続くクラブ協議会では、部門ごとに各委員長の発表について御講評を頂きながら、スムーズに会を進めることができます。特に例会時にガバナーよりバッチを頂く新入会員がいた事、会長がきちんと目標を持って会員増強に力を入れている事、地域に根ざした奉仕活動を行なっている事などが評価されました。

当日は、三國ガバナーとメンバーの交流を深めることができます。大変有意義な公式訪問例会であった事につきまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

▶ 川口むさし野RC ◀

例会日：平成23年11月2日（水）
会長：波多野 正行／幹事：福世 一明

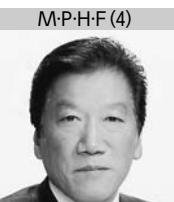
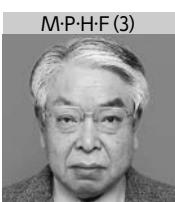
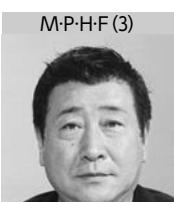
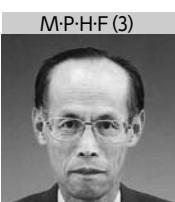
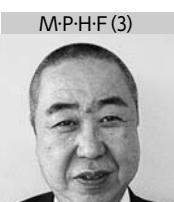
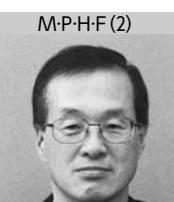
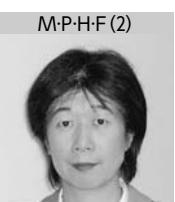
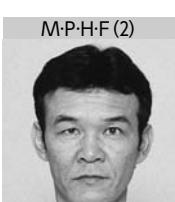
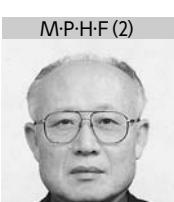
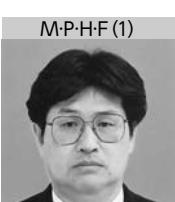
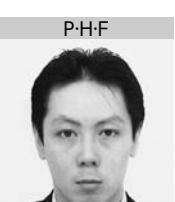
11月2日、三國ガバナー第12グループ川島ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。例会前の懇談会では、会長、幹事、会長エレクトが同席し、会員増強のポイントや今後の活動方法のアドバイス等ご指導頂きました。又、当クラブ会長の運営方針を『素晴らしい』とお褒めのお言葉を頂戴し、深く感動致しました。

三國ガバナーの卓話では、プロジェクトを使用してRIのテーマや地区の方針をわかりやすくご指導頂き、更に川島ガバナー補佐より講評も頂戴致しました。

三國ガバナー、川島ガバナー補佐には心より感謝申し上げると共にお身体をご自愛頂きます様お願い申し上げます。



歓迎 三國 明 ガバナー公式訪問
 川口むさし野ロータリークラブ

ローラリー財団 	大口寄付 53,000 \$ ベネファクター 	大口寄付 31,725 \$ ベネファクター 	大口寄付 26,000 \$ 	大口寄付 24,625 \$ ベネファクター 	大口寄付 21,300 \$ 	大口寄付 15,000 \$ ベネファクター
	関口博正 (杉戸) 平成23年10月31日	大塚信郎 (上尾) 平成23年11月25日	杉田政男 (岩槻東) 平成23年9月2日	井橋吉一 (越谷) 平成23年9月7日	種家寿雄 (八潮) 平成23年11月28日	下和雄 (大宮シティ) 平成23年11月22日
	大口寄付 11,170 \$ 	大口寄付 11,095 \$ 	大口寄付 11,050 \$ 	大口寄付 10,062.93 \$ 	M·P·H·F(8) 	M·P·H·F(8) 
	沖田定男 (大宮シティ) 平成23年11月22日	清水常三 (岩槻東) 平成23年11月29日	池口順造 (大宮北) 平成23年11月10日	森本勇 (幸手) 平成23年9月14日	原田隆昭 (大宮北) 平成23年11月10日	吉澤勝治 (越谷南) 平成23年11月29日
	M·P·H·F(6) 	M·P·H·F(5) 	M·P·H·F(4) ベネファクター 	M·P·H·F(4) 	M·P·H·F(4) 	M·P·H·F(4) 
	橋本直子 (大宮シティ) 平成23年11月22日	岩上幸二 (幸手) 平成23年9月7日	高橋一哲 (大宮北) 平成23年11月10日	吉田耕之 (大宮シティ) 平成23年11月22日	片山金次郎 (さいたま櫻) 平成23年11月29日	岩渕孝男 (大宮中央) 平成23年12月5日
M·P·H·F(3) 	M·P·H·F(3) 	M·P·H·F(3) 	M·P·H·F(3) 	M·P·H·F(3) 	M·P·H·F(2) 	M·P·H·F(2) 
宮下守夫 (大宮シティ) 平成23年11月22日	田中豊 (浦和西) 平成23年11月28日	内木滋郎 (さいたま櫻) 平成23年11月29日	清水秀隆 (川口東) 平成23年11月30日	深野益男 (川口東) 平成23年11月30日	男澤望 (大宮シティ) 平成23年11月22日	周東美貴 (大宮シティ) 平成23年11月22日
M·P·H·F(2) 	M·P·H·F(2) 	M·P·H·F(1) 	M·P·H·F(1) 	M·P·H·F(1) ベネファクター 	P·H·F 	P·H·F 
長澤正 (大宮シティ) 平成23年11月22日	伴光治 (久喜菖蒲) 平成23年11月25日	松岡光一 (幸手) 平成23年9月7日	宮澤実 (幸手) 平成23年9月7日	遠藤裕久 (杉戸) 平成23年9月27日	加州正博 (草加中央) 平成23年10月21日	加藤欽彦 (大宮シティ) 平成23年11月22日





中村 元徳
(浦和北東)
平成23年11月25日

小池 智修
(さいたま櫻)
平成23年11月29日

渋谷 栄一
(さいたま新都心)
平成23年11月29日

中山祐太郎
(さいたま櫻)
平成23年11月29日

篠原達幸
(杉戸)
平成23年10月31日

高松良典
(蕨)
平成23年11月2日

戸塚 博之
(蕨)
平成23年11月29日



宮澤 実
(幸手)
平成23年9月7日

細井 勝保
(杉戸)
平成23年10月31日

村上博彦
(蕨)
平成23年11月2日

上野 拓也
(浦和北東)
平成23年10月21日

鈴木 義男
(浦和北東)
平成23年10月21日

宮坂秀樹
(浦和北東)
平成23年10月21日

服部 英昭
(蕨)
平成23年11月2日



堺 政友
(浦和北東)
平成23年11月25日

山中重則
(浦和北東)
平成23年11月25日

秋本昌治
(さいたま櫻)
平成23年11月29日

新会員



佐々岡 修
(越谷中)
平成23年9月6日入会
ホリスティック鍼灸整骨院
鍼灸・整骨院



宮坂真志
(越谷中)
平成23年9月6日入会
東京海上日動あんしん生命保険
生命保険



小田泰義
(春日部)
平成23年9月20日入会
ブルデンシャル生命保険
生命保険業



前澤巨也
(春日部)
平成23年9月20日入会
前澤理士事務所
税理士

黄国偉
(越谷南)
平成23年9月29日入会
株式会社さくら商事
産業リサイクル業

木村義徳
(越谷北)
平成23年10月5日入会
㈲木村自動車
自動車整備

高野淳一
(春日部)
平成23年10月11日入会
タカノビル
不動産管理

石井真一
(杉戸)
平成23年11月1日入会
行政書士石井真一事務所
行政書士

佐藤陽二
(越谷南)
平成23年11月10日入会
越谷ハートクリニック
病院

飯島 宙
(浦和東)
平成23年11月24日入会
飯島医院
産婦人科医



高橋英樹
(浦和東)
平成23年11月24日入会
㈲TM建築工房
建築設計

管勝哉
(大宮西)
平成23年12月5日入会
株式会社カントック
店舗什器・厨房器具備品業

坪井 明
(越谷中)
平成23年12月6日入会
YSD保険サービス
保険代理業(損保・生保)

伊能敬文
(大宮東)
平成23年12月7日入会
株式会社敬和金属販売
金属販売

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



関口作造 会員
(越谷)
平成23年11月29日
享年93歳

